

## ◆息軒噺 第10話 今から150年以上前に敬老の式典 !!

江戸も末期の元治元年(1864)10月15日、ここは飢肥そして清武。何と初めての敬老の式典開催。

安井息軒は、56才のときに、『救急惑問』という書を著し、その中でお年寄りを大切にすることの重要性を訴えています。

それからおよそ10年後、飢肥と清武では70才以上の高齢者が飢肥城と役所に呼ばれました。当時の食事はといえば一汁一菜のお粗末な食事、ところがこの日ばかりは一汁三菜、ほかに魚が二品とお酒、普段とても食べられないようなご馳走が振る舞われ、みんな喜んで食べました。加えて息軒は言いました。

「病気で城に来られない人には家にご馳走を届けなさい。  
さらに80歳以上のお年寄りには家に米も届けなさい」

今から150年以上も昔の話です。後半生を江戸で過ごし、素晴らしい業績を残した息軒ですが、たくさんの郷土貢献もしています。そして息軒最大の功績は清武で、飢肥で、江戸で、そして昌平坂学問所で素晴らしい弟子たちを育て、その弟子たちが新しい日本を、そして地方を創っていったことでしょう。

▶押絵 大山 敏男氏



## 安井息軒記念館は彼岸花の名所でもあります



## イベント案内 ※詳細はHPをご覧ください、記念館へお問い合わせください。

### 安井息軒記念館講座

10:00~11:45

12月8日(土)

「安井息軒と延岡藩」

講師：元宮崎大学准教授  
山村 善洋 氏



### 秋のミニ企画展

9月15日(土)~11月4日(日)

安井息軒と秋月種樹(たねたつ)



当時の政治情勢とふたりの関係が垣間見える書簡を展示します。

### 清武町史セミナー(全10回)

10:00~11:45

11月17日(土)

第6回 モリソン号来航から薩英戦争

12月15日(土)

第7回 第一次幕長戦争と文久三年・元治元年の改革

講師は清武町史の執筆者の一人である日南市生涯学習課長友禎治氏です。

講座は初回参加時のみ申込が必要ですが、当日受付も可能です。

電話、FAX、ハガキ、メールのいずれかで住所・氏名・ご連絡先をお知らせください。宛先は1面をご覧ください。